

各 位

会社名 オザキ軽化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 林 隆司
 (JASDAQ・コード番号7899)
 問合せ先 常務取締役 江端二郎
 役職・氏名 経営企画室長
 電話 0561-39-1211

**平成 20 年 4 月期中間（非連結）業績予想との差異および
 通期（非連結）業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 20 年 4 月期(平成 19 年 5 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日)の業績予想につきまして、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 6 月 14 日付当社「平成 19 年 4 月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

【平成 20 年 4 月期 業績予想の修正等】

(1) 中間期（平成 19 年 5 月 1 日 ～ 平成 19 年 10 月 31 日） (単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|--------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 1,320 | 45 | 55 | 30 |
| 今回修正 (B) | 1,294 | 23 | 39 | 23 |
| 増減額 (B-A) | △26 | △22 | △16 | △7 |
| 増減率 | △2.0% | △48.9% | △29.1% | △23.3% |
| (ご参考) 前期実績 (平成 19 年 4 月期中間) | 1,235 | 39 | 64 | 34 |

(2) 修正の理由

当中間期の売上高につきましては、新規分野（非食品）の着実な伸びに加え、食品分野についても前年実績を上回ったものの、計画に対しては、産業用が不振で、食品分野では水産向けの需要減が影響し予想を下回る結果となりました。

利益においては、原油価格の高騰による樹脂原料価格の値上げが利益圧迫の要因となり、全社挙げてのコスト削減努力もこれを吸収するには至らず、予想を下回る結果となりました。

(3) 通期（平成 19 年 5 月 1 日 ～ 平成 20 年 4 月 30 日） (単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 2,700 | 105 | 125 | 70 |
| 今回修正予想 (B) | 2,650 | 60 | 85 | 45 |
| 増減額 (B-A) | △50 | △45 | △40 | △25 |
| 増減率 | △1.9% | △42.9% | △32.0% | △35.7% |
| (ご参考) 前期実績 (平成 19 年 4 月期) | 2,527 | 77 | 123 | 65 |

(4) 修正の理由

通期の予想につきましては、当業界における水産のような原油高の影響を大きく受ける顧客からの需要減速懸念や、原材料のさらなる価格高騰などの不確定要素により、厳しい市場状況が予測されることから、売上高、営業利益、経常利益ならびに当期純利益は当初予想を下回るものと見込んでおります。このような状況の中、新規分野（非食品）の一層の拡大とともに、タイムリーな納入、品質の更なる向上を徹底し、より一層お客様からの信頼を得ることにより売上の増加を図って参ります。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。